

シリーズ～終末を生きる～
ヨハネの黙示録 11章

二人の証人

屠られた小羊

7つの封印の出来事

終末の到来を認識する

征服者

戦争

物価高騰

飢饉疫病

殉教者

天の異変

第7封印

悔い改めない人々

終末の出来事

第7ラッパ

2億の兵

いなご

天体異常

水の汚染

海の災い

陸の災い

7つのラッパの出来事

ヨハネの黙示録 11章 1～14節

それから、わたしは杖のような物差しを与えられて、こう告げられた。「立って神の神殿と祭壇とを測り、また、そこで礼拝している者たちを数えよ。しかし、神殿の外の庭はそのままにしておけ。測ってはいけない。そこは異邦人に与えられたからである。彼らは、四十二か月の間、この聖なる都を踏みにじるであろう。わたしは、自分の二人の証人に粗布をまとわせ、千二百六十日の間、預言させよう。」この二人の証人とは、地上の主の御前に立つ二本のオリーブの木、また二つの燭台である。この二人に害を加えようとする者があれば、彼らの口から火が出て、その敵を滅ぼすであろう。この二人に害を加えようとする者があれば、必ずこのように殺される。彼らには、預言をしている間ずっと雨が降らないように天を閉じる力がある。また、水を血に変える力があって、望みのままに何度でも、あらゆる災いを地に及ぼすことができる。

二人がその証しを終えると、一匹の獣が、底なしの淵から上って来て彼らと戦って勝ち、二人を殺してしまふ。彼らの死体は、たとえばソドムとかエジプトとか呼ばれる大きな都の大通りに取り残される。この二人の証人の主も、その都で十字架につけられたのである。さまざまの民族、種族、言葉の違う民、国民に属する人々は、三日半の間、彼らの死体を眺め、それを墓に葬ることは許さないであろう。地上の人々は、彼らのことで大いに喜び、贈り物をやり取りするであろう。この二人の預言者は、地上の人々を苦しめたからである。三日半たって、命の息が神から出て、この二人に入った。彼らが立ち上がると、これを見た人々は大いに恐れた。二人は、天から大きな声があって、「ここに上って来い」と言うのを聞いた。そして雲に乗って天に上った。彼らの敵もそれを見た。そのとき、大地震が起こり、都の十分の一が倒れ、この地震のために七千人が死に、残った人々は恐れを抱いて天の神の栄光をたたえた。第二の災いが過ぎ去った。見よ、第三の災いが速やかにやって来る。

異邦人に踏みにじられる聖なる都

- 神殿と祭壇を測り、礼拝者を数えよ
 - 「外の庭(異邦人の庭)」は測らない
 - 悔い改めて主を礼拝している人を確認する
- 異邦人が42か月間聖なる都を踏みにじる
 - 「異邦人」とは主に背く人々のこと
 - 「聖なる都」とはエルサレムあるいは教会
 - 「42か月」=3年半
 - 神の数字“7”の半分であることから人間あるいはサタンの時間を意味するのでは？

悔い改めを語る二人の証人

- バプテスマのヨハネ？
 - 「粗布をまとわせ」: 喪を表現する服装
- ヨシュアとゼルバベル？
 - 「地上の主の御前に立つ二本のオリーブの木、また二つの燭台である」: ゼカリヤ書
- エリヤとモーセ？
 - 「預言をしている間ずっと雨が降らないように天を閉じる力がある。また、水を血に変える力があって、望みのままに何度でも、あらゆる災いを地に及ぼすことができる」
- 期間は「1260日」=3年半

殺される証人

- 「底なしの淵」から上がってくる「一匹の獣」
 - 黙示録中に36回登場する>サタン
- 獣が二人を殺し、大通りにさらされる
 - 「ソドムとかエジプトとか呼ばれる大きな都」
 - 「この二人の証人の主も、その都で十字架につけられた」
- 人々は彼らの死を喜ぶ
 - 「地上の人々は、彼らのことで大いに喜び、贈り物をやり取りする」
 - 彼らが「地上の人々を苦しめたから」

よみがえり天に帰る証人

- 「神の息」が二人に入り、立ち上がる
 - 死んで3日半後に
- 人々は大いに恐れる
- 天に上る二人
 - 「ここに上って来い」という声が天から下る
 - 「雲に乗って天に上る」
- 大地震が起こる
 - 都の十分の一が倒れ、七千人が死ぬ
 - 生き残った人々は「天の神の栄光をたたえる」
- 第二の災いが過ぎ去り第三の災いが来る

ヨハネの黙示録 11章15～19節

さて、第七の天使がラツパを吹いた。すると、天にさまざま
な大声があつて、こう言った。「この世の国は、我らの主
と、そのメシアのものとなつた。主は世々限りなく統治さ
れる。」神の御前で、座に着いていた二十四人の長老は、
ひれ伏して神を礼拝し、こう言った。「今おられ、かつてお
られた方、全能者である神、主よ、感謝いたします。大いなる
力を振るつて統治されたからです。異邦人たちは怒り
狂い、あなたも怒りを現された。死者の裁かれる時が来
ました。あなたの僕、預言者、聖なる者、御名を畏れる者
には、小さな者にも大きな者にも報いをお与えになり、地
を滅ぼす者どもを滅ぼされる時が来ました。」そして、天
にある神の神殿が開かれて、その神殿の中にある契約の
箱が見え、稲妻、さまざまな音、雷、地震が起こり、大粒の
雹が降つた。

いよいよ最後の災い

- この世の国がメシアのものとなる
- 最後の審判が近づく
 - 「死者の裁かれる時」
 - 「御名を畏れる者には、小さな者にも大きな者にも報いをお与え」になる
- 契約の箱が現れる
 - 「天にある神の神殿が開かれて」
 - 「稲妻、さまざまな音、雷、地震が起こり、大粒の雹が降った。」
 - 契約にもとづいて裁きが行われる